

# 石教研音楽部会授業実践レポート

恵庭市立恵明中学校

第2学年6学級担当

成島 優一

## 1 題材名 合唱

## 2 題材観

コロナ禍において、歌唱やリコーダーなどの実技が恵庭では、感染症対策を行いながら実施することが出来るようになってきた。今回は創作の授業で、発声や飛沫を飛ばさない題材で行ったが、今回は感染症対策を行い、合唱コンクールに向けた合唱の授業でクロームブックを活用し、効果的な使用方法を模索したい。また、今回はパート練習にフォーカスしてレポートを作成した。

## 3 題材の目標

クロームブックを活用し、パート練習の際に曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫するとともに、学習に主体的・協働的に取り組むことができる。

## 4 生徒の実態

どの学級も活発的な生徒が多く、音楽の授業も前向きに取り組むことが出来る生徒が多い。また、1年生の終わりに卒業セレモニーに向けて「足跡」を学年合唱で歌い、合唱に対して頑張ろうとする生徒が増えた。2年生になり、全体的にしっかり声を出し、音楽表現に対して前向きに考えて意見を言う生徒が増えている。

## 5 題材の評価基準

	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に取り組む態度
題材の評価基準	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関りを理解している。 創意工夫を生かした表現で合唱曲を歌うため必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

## 6 指導計画と評価計画（4時間）

時数	指導内容	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に取り組む態度
1 2	パート練習① パート練習②	・楽譜に記載されている速度やリズム、音高を理解して歌うことができる。	・楽譜に記載されている速度やリズム、音高を知覚、感受して歌うことができる。	・パート練習の映像から、より良い音楽表現をするために、意見を出したり、歌おうとしたりしている。
3	パート練習③ 合唱①	・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。		・パート練習の映像から、より良い音楽表現をするために、意見を出したり、歌おうとしたりしている。 ・歌唱表現を創意工夫するとともに、学習に主体的・協働的に取り組む。
4	パート練習④ 合唱②		・曲想と形式や歌詞との関わりや音域や強弱に応じた発声、子音や母音の発音などを得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	・撮影した合唱の映像から、音楽をつくる楽しさや達成感を味わっている。

## 7 評価

- ・正しい音程、リズムで歌うことができる。
- ・楽譜に記されている表現を感じ、歌うことができる。

## 8 取り組みと今後の課題

・まだ2時間目までではあるが、パートリーダーのみクロームブックを使用し、パート練習を行い、動画撮影することでパート練習の内容の改善を自分たちで考えることが少し出来るようになった。今後は全員で使用することによって個人の技術や表現の向上に使用できないか活用方法をもう少し考えることが必要だと感じた。また、クロームブックで撮影を行なう場所や、伴奏などの音源の位置の工夫を行う必要もあると感じた。

## 9 授業の様子



パート練習に入る前に、前回の最後の練習で録画した動画を確認し、今回の目標を設定している様子。

目標設定後のパート練習の様子。



合唱時にも各パートの前にクロームブックを置き、演奏を撮影している様子。

授業のまとめで演奏を確認し、振り返りシートに今回の改善点と次回に繋げたいことを記入する。

